

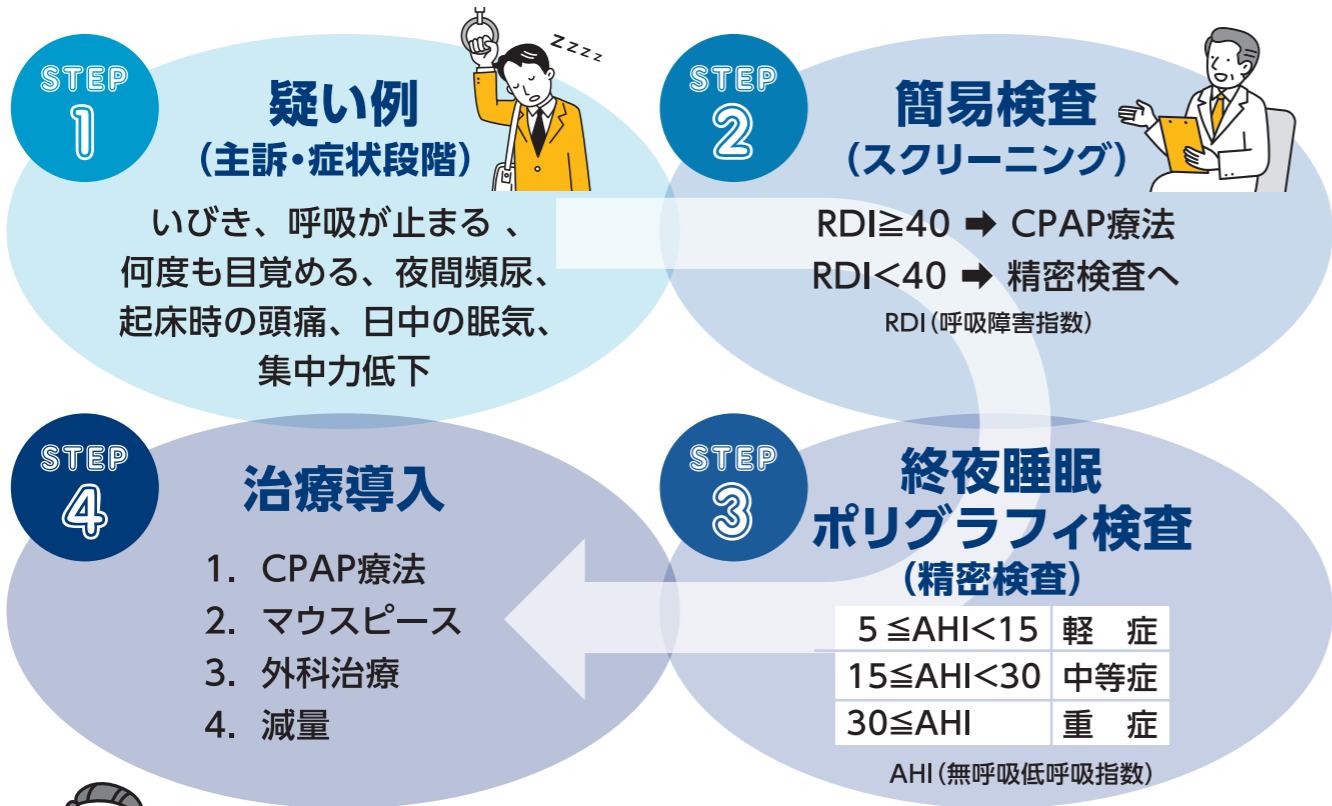
# 睡眠時無呼吸症候群について



当院呼吸器内科では、睡眠時無呼吸症候群(SAS)が疑われる患者さんに対し、終夜睡眠ポリグラフィ検査(PSG)による精密検査を実施しています。検査は毎週金曜日からの1泊2日で行っています。SASを疑う症状のある患者さんがおられましたら、呼吸器内科外来へご紹介ください。

また、治療(CPAP等)の導入が必要となった場合は、貴院のご要望に応じた形で対応いたします。「治療導入は逆紹介を希望」「治療導入は任せるが、機器は〇〇を希望」などのご希望がございましたら、紹介状にご記載いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

## STEP別 睡眠時無呼吸症候群



### 医療機関にお伝えしたいこと

どのSTEPでの紹介でも承ります。精密検査のみの依頼も可能です。精密検査は金曜日昼頃に入院し翌朝退院というスケジュールです。

アンケート  
のお願い

当院広報誌(ニュースレター)について、  
右記二次元コードより皆さまの  
ご意見をお寄せください。



地域の医療機関のニーズを知り、  
より読みやすく、身近な広報誌を  
目指します

患者さまのご紹介・お問い合わせ

藤田医科大学 岡崎医療センター医療連携室  
(※住所変更新住所): 愛知県岡崎市針崎西2丁目6番地1 TEL:0564-64-8200

地域の医療機関の皆さまへ

FUJITA HEALTH UNIVERSITY  
OKAZAKI MEDICAL CENTER

# News Letter

2026.02

# 小児外科外来、始動。

子どもと家族に寄り添う専門チームがスタートしました



## CONTENTS

- ・小児外科責任者・スタッフ紹介
- ・診療内容、最新の取り組み
- ・地域医療機関の皆さまへ



## 岡崎医療センター 小児外科 スタッフ紹介



### 診療科責任者

#### 教授 井上 幹大

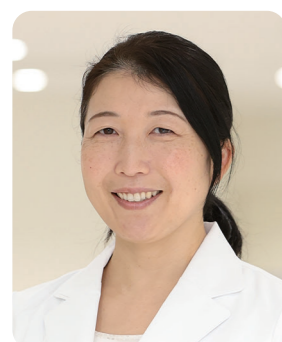
小児外科外来日  
第1・2・5木曜日／午後

##### ○専門

小児外科一般、炎症性腸疾患、内視鏡外科手術（胸腔鏡、腹腔鏡）、外科感染症

##### ○資格

日本外科学会指導医、日本外科学会外科専門医、  
日本小児外科学会指導医、  
日本小児外科学会小児外科専門医、  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医、  
日本周産期・新生児医学会認定外科医、日本消化器外科学会指導医、  
日本消化器外科学会消化器外科専門医、  
日本内視鏡学会技術認定証有、  
日本小児血液・がん学会小児がん認定外科医、  
日本小児栄養消化器肝臓学会小児栄養消化器肝臓認定医、  
ICD制度協議会インフェクションコントロールドクター（ICD）、  
日本外科感染症学会外科周術期感染管理認定医、  
日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育医、  
日本移植学会移植認定医、日本炎症性腸疾患学会IBD指導医、  
日本炎症性腸疾患学会IBD専門医



#### 講師 小川 絵里

小児外科外来日  
第4木曜日／午後

##### ○専門

小児外科一般、肝胆道系疾患、固形腫瘍、肝移植、小腸移植、マイクロサージャリー

##### ○資格

日本外科学会外科専門医、日本小児外科学会指導医、  
日本小児外科学会小児外科専門医、  
日本移植学会移植認定医、日本外科学会外科指導医  
日本周産期・新生児医学会認定外科医



#### 医師 直江 篤樹

小児外科外来日  
第3木曜日／午後

##### ○専門

小児外科一般、炎症性腸疾患

##### ○資格

日本外科学会外科専門医、  
日本小児外科学会小児外科専門医、  
日本移植学会移植認定医

## ■ 診療内容、最新の取り組みや特色ある症例

藤田医科大学小児外科では、鼠径ヘルニアや陰嚢水腫、停留精巣、虫垂炎、腸重積などの日常診療で遭遇することの多い疾患から、消化管閉鎖などの新生児疾患、胆道閉鎖症・先天性胆道拡張症などの肝胆道系疾患、良性・悪性腫瘍にいたるまで、小児外科専門施設として幅広く診療を行っております。さらに一般的に行っている診療に加え、生体肝移植やロボット支援手術を含む高難度の腹腔鏡・胸腔鏡下手術、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）に対する内科・外科治療など、一部の限られた施設でのみ実施可能な高度医療にも取り組んでおります。

小児の生体肝移植につきましては、5名の日本移植学会移植専門医を擁し、東海地区で最も多くの移植手術を実施しております。

腹腔鏡・胸腔鏡下手術においては、日本内視鏡外科学会の技術認定取得者を中心に安全性を最優先とした治療を実践しております。さらに、国内で初めて約3cmの単一創からロボット支援手術が可能なダビンチSPを用いた先天性胆道拡張症手術を実施いたしました。

また、近年小児でも増加傾向にある炎症性腸疾患につきましては、診断のきっかけとなる血便や慢性的な下痢、腹痛の原因検索として乳幼児期から積極的に内視鏡検査を行い、早期診断に努めています。加えて、小児科、消化器内科、消化器外科と常に連携して診療にあたることで、小児期以降も円滑な診療移行が可能な、国内でも数少ない体制を構築しております。



ダビンチSP▶

## 地域医療機関の皆さまへ（紹介時のポイントなど）

昨年9月から岡崎医療センターにおいて、毎週木曜日午後の外来診療を開始いたしました。鼠径ヘルニア、陰嚢水腫、停留精巣などの日常疾患に対する手術につきましては、今年の4月開始を目標に、岡崎医療センターで実施できるよう準備を進めております。手術開始の際には、改めてご連絡申し上げますので、**鼠径部や陰嚢の腫脹・腫大を認める場合**、あるいは**精巣を陰嚢内に触知できない場合**には、**患者様のご紹介をご検討いただけますと幸いに存じます。**

また、明らかな外科疾患に限らず、**黄疸や白色便を認め肝胆道系疾患が疑われる場合や、原因が明らかでない腹痛や下痢、嘔気・嘔吐、吐下血などの消化管症状を認める場合、難治性便秘でお困りの場合**などにつきましても、**原因検索を含めて対応させていただきます。**

そのほか、**外科疾患の可能性が考えられる所見が認められた場合にはお気軽にご相談ください。**

精査の結果、高度な専門性を要する手術や緊急手術が必要と判断した場合には、豊明市の藤田医科大学病院にて対応させていただきますこと、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。